

奥秩父	雲取山	No.017
-----	-----	--------

昭和 38 年 4 月 27 日

市ヶ谷駅を22時 08 分に出発、立川駅に着いたのは23時頃。23時 21分発で氷川へ。まだどこへ行くかは決めてない。氷川まで行けば行くところは沢山あるから駅に着いてから行先を考えようという風変わりな山歩き。

昭和 38 年 4 月 28 日

氷川着0時34分、駅舎の中で寝袋を出して仮眠。

(1時30分就寝)

起床4時45分、天気は良さそうで、寒くもない。朝食(パン、ソーセージ、インスタントラーメンの生かじり)を立ち食いしながらバスの時刻表を眺め、行先を考えた結果、

6時20分発の鴨沢行で雲取方面へ行くことに決定。

こんな早い時刻のバスに乗る登山客はいない。一番乗りのうれしさがこみ上げてくる。

鴨沢でバスを降り、7時に歩き始める。ここは海拔 533m、目指すセツ石山までの高度差は 1200m以上。まずは権現山の北側にある小袖乗越に上がる。最初の30分はいつも同じように辛い。

小袖乗越7時30分。ここからは小袖川右岸の尾根をゆっくり巻きながら登って行くので傾斜は緩くて歩きやすい。小袖上に7時50分。天気がよいのと朝一番の急登で暑くなってきた。

堂所(1247m)8時50分、巻き道はここで終り、ここからは尾根上の道になる。

セツ石小屋への分岐9時50分、軽い食事と11時まで大休止。

11時05分に石尾根に飛び出し、セツ石山に11時12分に到着。(1757.3m)早めに大休止を取り過ぎたので、ここでは景色を眺めただけですぐに出発。静かな頂上からは富士山や南アルプスの山並みが見える。



奥多摩小屋11時45分。飛龍山の大きさがよくわかる雄大な眺めを満喫。(左写真)

小雲取(1937m)12時10分着。

ここから野陣尾根(富田新道)を日原へ下ることにして、昼食と大休止。憧れの雲取山を目前にしてここから下山することになった経緯がメモしてなかったが、おそらく下ルート・所要時間・バスの運行時刻などを勘案して判断したのだらうと思う。この頃はまだ初心者で慎重だったのだらう。

13時15分下山開始。

唐松橋(932m)14時27分、日原川の流



踏み跡 < My mountains >

れまで下りてきた。左岸を高巻く林道に上がる。

八丁橋(孫惣谷出合い)15時30分。日原バス停到着は16時30分。ここは海拔 618mなので小雲取から高低差 1300mを下ってきたことになる。鍾乳洞入口(小川谷出合い)の橋の上まで来てホッとしていたら、意外なことに恩田とばったり。彼は会社の同僚と孫惣谷に入り酉谷山から下りてきたと言う。

そんな訳で、出かける時は一人だったが、帰る時は三人になった。

以上

(修正・更新:2023年9月)